

経営比較分析表（令和3年度決算）

北海道 湧別町

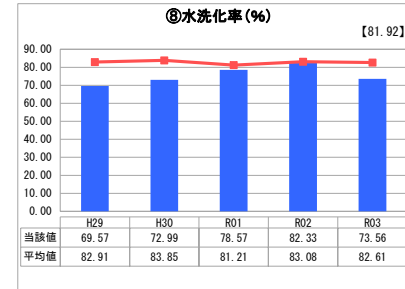
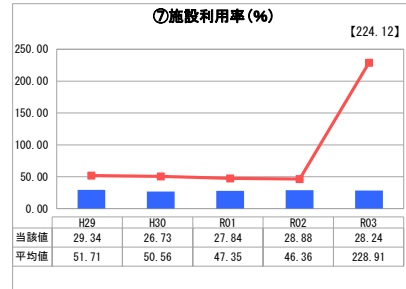
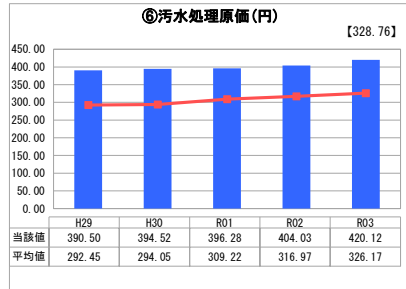
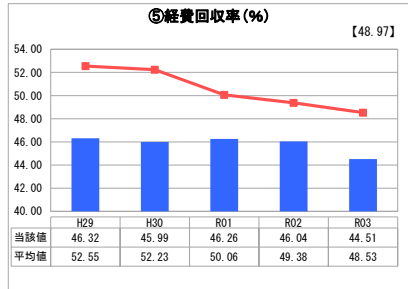
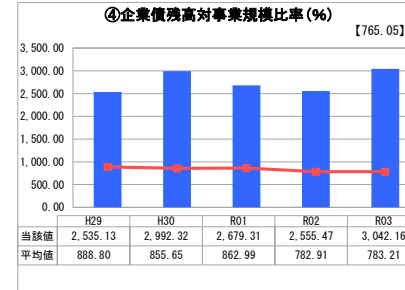
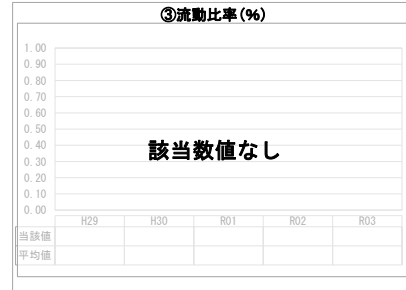
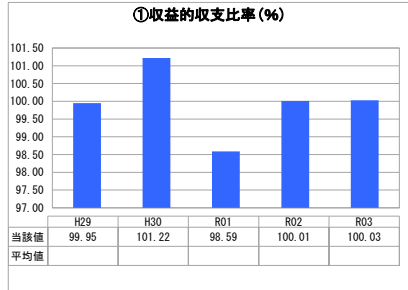
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	26.84	100.00	3,468

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
8,316	505.79	16.44
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,205	145.20	15.19

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

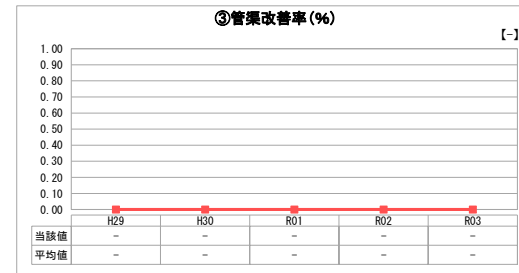
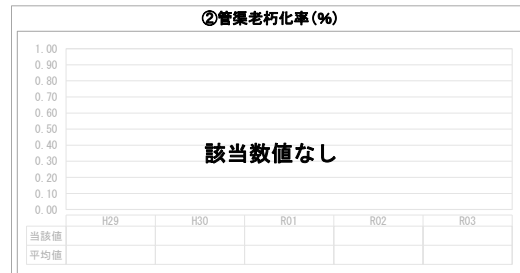
1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率はほぼ100%となっていますが、一般会計からの繰入金により均衡を保っています。今後とも汚水処理の普及向上のため整備を進めていく予定となっていることから水洗化率の上昇に伴う使用料の増加が見込めるものの、維持管理経費が下水道事業よりも割高であり、また、事業の拡大に伴い将来の経営悪化が懸念されるため更なるコスト縮減等の対策が必要となります。

2. 老朽化の状況について

個別排水処理事業は平成13年度から実施しており、令和2年度まで整備を進める予定となっております。老朽化について現在のところ問題ありませんが、将来的には浄化槽の老朽化による修繕及び更新費用が増大していくことが予想されます。

2. 老朽化の状況



全体総括

本町の個別排水処理事業は、下水道処理区域の整備がほぼ終了しているため、下水道処理区域外の合併処理浄化槽整備を計画的に実施していく予定となっています。しかし、個別排水処理事業は維持管理経費が下水道事業よりも割高であるため将来の経営悪化が懸念されており効率的な経営改善について検討しなければなりません。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。